

# 関西広域産業ビジョン (2023年改訂版)

## 【骨子案】

2023年9月

関西広域連合

広域産業振興局



# はじめに

- 「関西広域産業ビジョン」は、関西が直面する課題や危機感を共有するとともに、将来像の実現のために取り組むべき方向性を示すものとして、2012年3月に策定し、その後、2019年3月に、それまでの間の取り組みの成果や課題も踏まえて改訂（2019年改訂）を実施した。
- 2019年改訂以降、とりわけ、2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の拡大及び2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻など、世界、日本、ひいては関西を取り巻く状況は大きく変化した。
- そうした中、新型コロナウイルス感染症が、2023年5月に感染症法上の位置づけが5類に移行したこと等により、少しずつではあるが、産業・経済活性化に向けた様々な動きがうごめきだしている。
- 一方で、長期化するウクライナ情勢を端緒とするエネルギー、原材料価格の高騰が続いている。さらには、米中の対立関係がグローバル経済に影を落とすなど、かつてないほどに地政学的リスクが高まっている。
- これら目下直面する課題はもとより、2025年の大阪・関西万博、2030年までのSDGs（持続可能な開発目標）、2050年のカーボンニュートラルなどもしっかり見据え、苦しい局面をもチャンスと捉え、「成長し続ける関西」の実現をめざすためのアプローチを示すことを主眼に、このたび本ビジョンを改訂する。

● 本ビジョンに掲げる「関西が目指す将来像・目標」について、現在地を検証

関西が目指す将来像・目標	検証	
<p>◆世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西</p> <p>東京一極集中の流れはとまっておらず、日本の国際競争力の維持強化、豊かな社会の実現、リスク分散の観点から、関西がもうひとつの核となり日本の成長を牽引することが必要である。</p> <p>従来から、アジアとの繋がりが深く、国内有数の規模と機能を持つ国際空港と国際港湾を備える関西は、関東から山陽、九州に至る国土軸の中心に位置するとともに、日本海側や四国地域との繋がりが強い。さらに、我が国を代表する歴史、文化、学術、研究開発機能や高い技術力を備えた中堅・中小企業などの関西の産業集積力は、海外から多くの人材や企業を吸引する大きなインセンティブとなる。</p> <p>この強みを活かし、好調なインバウンドの勢いを関西経済に着実に波及させるとともに、関西エリアへの国際会議の誘致など、ビジネスの面でも関西が優位性を持ち、アジア、さらには世界の中で存在感を発揮していく。</p> <p>さらに、関西地域で取り組んでいる事業のネットワーク化や多極化を図るなど、関西の魅力に一層磨きをかけ、強みである独自の個性や価値を発信し、地域間交流の活性化を図ることにより、国内はもとより世界から「人・モノ・投資・情報」が集まり、イノベーションが生まれる地域として、世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西を目指す。</p>	<div data-bbox="1207 502 1535 1249" style="border: 2px solid black; padding: 20px; text-align: center;"> <h1 style="font-size: 4em; margin: 0;">調整中</h1> </div>	
<p>◆多様な人々が活躍・共生できる関西</p> <p>それぞれの地域が独自の魅力を持ち、多様な価値観を持った人々が集う関西は、新たなイノベーションが生まれるエリアとして、大きなポテンシャルを有している。</p> <p>多くの人々を引きつける、安全・安心で豊かな生活圏を形成するためには、それを支える所得を生み出す、強さと柔軟さを備えた産業の発展が不可欠であり、高齢化社会に向けた生活関連産業や豊かな自然が育む地域資源などを有効に活用した地域産業の成長・伸展や、関西が有する多様な歴史的資源、食文化をはじめとする文化的資源や、それらに起因する観光資源を活用し、産業化を図る。</p> <p>そうすることで、関西が、豊かで持続可能な生活圏を形成する魅力ある地域となり、年齢、性別、障がいの有無、国籍にかかわらず、多様な人材が、働きがいや生きがいを感じながら、自らの能力を活かし、その個性を存分に発揮して活躍するとともに、それぞれの存在を相互に尊重し、共生する関西を目指す。</p>		
<p>◆目標</p> <p>(略) 関西経済における輸出の対アジア依存度の高さは特筆すべき特徴であることから、この特徴を戦略的に活かし、活発なアジアを中心とする外需を積極的に取り込み、域内の経済活動を活性化し、関西が起爆剤となって日本経済の拡大に貢献することにより、関西（広域経済圏）はアジアの経済拠点として成長することを目指す。</p> <p>その結果、おおむね20年後（2040年度）の関西（広域経済圏）の経済、産業の国シェアを25%、G R Pを約1.8倍（2010年度比）の約180兆円とすることを目標とする。</p>		

# 現状分析・将来展望

## ● 関西経済を見通す上で、認識しておく主なトレンド

### ■ 気候変動、地球環境問題

#### ▶ 地球温暖化

- ・パリ協定採択（2015）  
「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」  
「今世紀後半には、温室効果ガスの人為的な排出と吸収源による除去の均衡を達成するよう、排出ピークをできるだけ早期に迎え、最新の科学に従って急激に削減すること」

#### ▶ 生物多様性の保全と持続的な利用

- ・昆明・モントリオール生物多様性枠組採択(2022)

#### ▶ マイクロプラスチック

- ・国連環境総会（UNEA-5.2）で  
「プラスチック条約」取りまとめに向けた交渉開始合意(2022)
- ・G7気候・エネルギー・環境大臣会合で  
「2040年までに追加的なプラスチック汚染をゼロにする野心」合意（2023）

#### ▶ 地球温暖化

- ・「2050年カーボンニュートラル宣言」（2020）
- ・「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」（2020）
- ・「2050年カーボンニュートラルと整合的で野心的な目標として、2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指すこと」を表明(2021)

#### ▶ 生物多様性の保全と持続的な利用

- ・「生物多様性国家戦略2023-2030」（2023）

#### ▶ マイクロプラスチック

- ・プラスチック製レジ袋有料化(2020)
- ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律施行（2022）

### ■ 技術革新、DX

#### ▶ デジタル活用、イノベーション

- ・先端技術（注）を扱う世界市場：1兆5,000億ドル（2020）から9兆5,000億ドル超(2030)へと拡大（国連貿易開発会議（UNCTAD）技術・イノベーション報告書、2023）

（注）先端技術  
AI、IoT、ビッグデータ、ブロックチェーン、5G、3Dプリンター、ロボット工学、ドローン、遺伝子編集、ナノテクノロジー、太陽光発電、集光型太陽光発電（CSP）、バイオ燃料、バイオマス・バイオガス、風力発電、グリーン水素、電気自動車

- ・DXの世界市場は、6,955億米ドル(2023)から、24.1%のCAGRで、3兆1,449億米ドル(2030)の規模に成長(MarketsandMarkets、2023)
- ・メタバースの世界市場は、476.9億米ドル（2020）から、43.3%のCAGRで、8,289億ドル（2028）に成長（Emergen Research、2021）

#### ▶ デジタル活用、イノベーション

- ・「2025年の崖」 「企業がレガシーシステムを抱えたままである場合、2025年～2030年にかけての年間最大経済損失は12兆円」（経済産業省「DXレポート」、2018）
- ・コロナ禍でデジタル活用加速（テレワーク、オンライン、非接触）（2019-）
- ・デジタル田園都市国家構想（2021）
- ・「世界デジタル競争力ランキング」63か国中29位（スイス国際経営開発研究所（IMD）、2022）

### ■ 社会構造

#### ▶ 人口動態

- ・世界人口は80億人に到達  
〔2011年：70億人、2037年：90億人に〕（国連、2022）
  - － アフリカ、アジアで増加、インドが人口世界一に
  - － 長寿化、妊産婦と幼児死亡率の低下など
  - － 10人に7人が都市部に居住（急速・無秩序な流入）

#### ▶ 国際経済

- ・先進国の経済力（規模）が相対的に低下、グローバルサウスの台頭

#### ▶ 人口動態

- ・日本人口は1億2,449万人：2011年以降11年連続で減少傾向（2023）
- ・少子化：合計特殊出生率1.26、7年連続低下（2022）
- ・高齢化率：29.0%（2022）、2040年には約35%に
- ▶ 生産年齢人口、労働力、働き方
- ・働き方改革推進法成立（2018）
- ・関西では、20年間で約2割減少
  - － 約1,249万人（2020） → 約1,002万人（2040）

### ■ 不確実性

#### ▶ 感染症リスク

- ・新型コロナウイルス感染症
  - － 経済活動の停滞（2020年の成長率▲4.9%、IMF）
  - － バイオ・ベンチャーによる革新的ワクチン開発（mRNA）

#### ▶ 地政学的リスク

- ・ロシアによるウクライナ侵攻・長期化（2022-）
- ・米中経済デカップリング（ブロック化）

#### ▶ 感染症リスク

- ・実質GDPが過去最大のマイナス成長率を記録（2020）
  - － インバウンド消失、消費抑制（移動、外出制限、営業自粛）
  - － サプライチェーンの分断、生産・流通停滞
  - － デジタル活用の進展
- ・新型コロナウイルス、感染症法上の位置づけ「5類」に（2023）

#### ▶ 地政学的リスク

- ・経済安全保障推進法成立（2022）

## ● 将来を展望する際のキーワード

- ・脱炭素、カーボンニュートラル
- ・SDGs（ESG投資）
- ・グリーンイノベーション（気候テック）
- ・サーキュラーエコノミー
- ・ネイチャーポジティブ
- ・資源の不安定化、不足、高騰

- ・デジタル人材
- ・リスキング
- ・ディスラプション
- ・リープフロッギング
- ・ゲームチェンジャー
- ・プロダクトライフサイクル短期化

#### （グローバル）

- ・食料不足
- ・自然環境破壊
- ・エネルギー・資源不足
- ・衛生・健康リスク、スラム化、格差

#### （国内）

- ・経済規模の縮小、労働力不足
- ・現役世代への社会保障負担増
- ・エネルギー価格高騰
- ・原材料供給危機
- ・ワクチン安全保障
- ・サプライチェーンの再構築、強靱化

# めざす将来像・目標

- 本ビジョン策定後おおむね20年後（2040年度）を展望し、「2つの将来像」（定性目標）の実現と、「数値目標」（定量目標）達成をめざす

## 【2つの将来像】

### 世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西

- 将来を予測することが困難で、これまでの延長線上では持続可能な成長を成し遂げることはできない。野心的な目標を掲げ、関西が誇る多様な強み、特色を生かし、継続して「チャレンジ」することで、イノベーションと新たな価値を創出していくことが必要である。
- そのため、当面は、「2025年大阪・関西万博」の成功に向け、関西一丸となって貢献する。万博開催のプロセスを活用し、関西の成長に弾みをつけ、我が国の経済成長をけん引することをめざす。

### 産業を支える多様な人材が活躍・共生する関西

- 先を見通しにくい世の中の変化に柔軟に対応し、関西経済が持続的な成長を成し遂げていくには、多様なバックグラウンド、価値観の人材が必要不可欠である。
- 変革を生むチャレンジをめざす人材を惹きつけるため、関西の産業魅力を発信し、また、ライフスタイルに応じた多様な働き方ができる環境づくりにも精力的に取り組み、多様な人材が活躍できる好循環の確立をめざす。

## 【数値目標】

### 関西（広域経済圏\*）の経済、産業の国内シェアを25%、GRP額を約150兆円

\*「関西（広域経済圏）」とは、関西広域連合構成府県市に、連携団体に指定している福井県、三重県を加えたもの。

- 前回改訂以降、感染症の拡大や緊迫する海外情勢など成長に水を差す状況はあるものの、関西の将来に大きなインパクトをもたらす2025年大阪・関西万博の開催を控え、今まさに関西経済は変革の途上にあり、今後の成長に大いなるポテンシャルを秘めている。
- こうしたことを踏まえ、数値目標のうち、経済、産業の国内シェアについては、引き続き25%をめざす。
- なお、GRP額については、2040年度の我が国のGDP推計値が下方修正されているため、約150兆円とする。  
～ 594.7兆円（2040年度のGDP推計値）× 25%（シェア目標値）＝ 148.7兆円 ≒ 約150兆円

# 将来像の実現・目標の達成に向けたアプローチ

## めざす姿

## 成し遂げたい関西のチャレンジ

## チャレンジのキーワード、キーアクション

### 新たな産業の創出

- ・関西の成長を象徴的にけん引
- ・世界共通の社会課題の解決にビジネスで貢献

×

### 産業構造の転換

- ・社会の変化に伴うニーズの多様化へ適応
- ・主として関西の中堅・中小企業の強靱化による持続的な成長

×

### 関西産業の基盤強化

- ・働き、チャレンジする魅力あふれる関西
- ・多様な人材がそれぞれの能力を十分に発揮

### 関西チャレンジ①

- ・関西が優位性を持つ分野を伸ばし、地域がもつ優れた技術等も結集し、新産業のビジネスエコシステムを確立
- ・それを強み（求心力）に国内外からの新たな集積が加速し、さらなるチャレンジが連続

### 関西チャレンジ②

- ・世の中が急速に変化する中、少し先の世界を見据え、その変化にチャンスを見出し、関西の強みやポテンシャルを活かし、ビジネスによる持続可能性で社会に貢献
- ・変化の中で多様化するニーズをとらえた戦略で、関西の強みやポテンシャルの社会へ浸透・展開

### 関西チャレンジ③

- ・SDGs、脱炭素(GX)をはじめとしたビジネス・グローバルスタンダードに迅速・的確に対応し、強みやポテンシャルをいかになく発揮
- ・個性の集まりが力となり成長する関西産業、多様な人材から「選ばれる」関西産業への構造転換

### 2025年大阪・関西万博

関西広域連合「関西パビリオン」をゲートウェイとした発信・誘客

### スタートアップ

イノベーションをリードする、新進気鋭のスタートアップが集積

### 産業クラスター

様々なプレイヤーとの協業・共創

### 進取の気性

常識にとらわれないチャレンジ

### コアコンピタンス

関西のオリジナリティ（強み、ポテンシャル）を活用・発展

### オープンイノベーション

フルセット主義、自前主義から脱皮し、迅速かつ効率的に新たな価値を創造

### レジリエンス

予見できない様々な変化の中にもチャンスを見出すたかさ、しなやかさ

### ケイパビリティ

グローバルスタンダードなどにもしっかり対応した競争力を備えた産業構造の構築

万博のインパクトを活かした様々な機会創出

どこよりも新たなチャレンジがしやすい、魅力的なスタートアップエコシステムの確立

大学等と連携したチャレンジ精神にあふれる起業家育成（アントレプレナーシップ教育）

クラスターのビジョン、取組み、実績をアピールし、共感を生み、さらなるプレイヤー（チャレンジャー）を呼び込む好循環

世界で一目置かれる関西の強み（成長のけん引役）を確立

産学官の多様なプレイヤー（チャレンジャー）が交流し、化学反応を生み出す機会と場の提供

様々なチャレンジを支える産学官プラットフォーム機能

プレイヤー（チャレンジャー）のニーズに最適な実証フィールドの提供

各地域特有の資源の多様性を魅力として活かしたプロモーション

市場としてのインバウンドへのさらなる訴求

6次産業化など、より強い産業へのチャレンジ

サプライチェーン（取引先）、働き手に選ばれる企業経営

リスクリングによる産業人材のアップグレード

生産者目線ではなく、ユーザー目線のDX・CXの推進



# 関西産業の成長に向けた “ 関西チャレンジ ”

## 関西チャレンジ①

- ◆ 関西が優位性を持つ分野を伸ばし、地域がもつ優れた技術等も結集し、新産業のビジネスエコシステムを確立
- ◆ それを強み（求心力）に国内外からの新たな集積が加速し、さらなるチャレンジが連続

### A 2025年大阪・関西万博の機会を捉えた産業化の加速

#### 【取組アイデア】

- 万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」及びコンセプト「未来社会の実験場」の具体化推進
- とりわけテーマと親和性の高い「ライフサイエンス、ヘルスケア」をはじめ、万博がめざすSDGsの実現や脱炭素・資源循環に配慮した万博の実現の取組みを中心に、関西の優位性を発揮
- 最先端技術など新たなアイデアの創造発信の場としての万博の開催地メリットを活用し、様々なチャレンジを支え、加速させる活動へのリソース等を提供
- 万博を機に、チャレンジ環境の整備・充実に図り、広く発信し、「チャレンジフィールド関西」を確立
- チャレンジを機に生じる関西の関係性を発展させ、関西発の様々なチャレンジを具現化
- こうした機会を捉え、関西でのビジネスチャンスを創出・拡大、新たなビジネスの発祥の地として拠点化（レガシー）

### B これまでの延長線上の取組みを超えたソリューションを創出するチャレンジ

#### 【取組アイデア】

- 現状の抜本的（破壊的）革新をめざすスタートアップの創出・成長支援。その環境を整備し、万博の機会を活用して取組みの拡充、加速（スタートアップエコシステム関係）
  - ・ 関西の魅力、ポテンシャル、将来性を国内外に発信、他エリアとの差別化、リソースの集積を可能とするブランド「ディープテックバレーKANSAI」の確立
  - ・ 万博関連イベントとの連携による認知度向上とレガシーの継承
- 関西企業の新事業展開とも連動して、イノベーションのビジネス化を実現し、持続的な成長の基盤となるエコシステムの構築（ライフサイエンス、ヘルスケア、バイオテクノロジー）
  - ・ 各拠点の特色、強みに加え、関西一丸としての魅力を内外に発信（万博のテーマと親和性の高い分野であることから、会場外の活動との連携充実）
  - ・ 成長をけん引するベンチャー、スタートアップをサポートするエコシステムの構築
- グリーンイノベーション、カーボンニュートラル（グリーンイノベーション、カーボンニュートラル）
  - ・ カーボンニュートラルに貢献する技術、サービス開発
  - ・ 域内企業の技術等も活用した、水素関連ほか、グリーン関係バリューチェーン、サプライチェーンの構築
  - ・ 成長分野を支える蓄電池人材の育成（コンソーシアム）
- 黎明期にある成長可能性を秘めた分野への果敢なチャレンジ（空飛ぶクルマ）
  - ・ 世界に先んじて万博での商用運航（実証フィールド、ポート整備、実験補助）
  - ・ 都市型ビジネス実現に向けたネットワーク拡大（オープンイノベーション）
- 宇宙（宇宙）
  - ・ 地理的特性等を活かした実験、チャレンジャーの呼び込み。産業集積（クラスター化）
- デジタル（デジタル）
  - ・ メタバース、デジタルツイン、XR等の既存企業・事業での活用検討、応用、イノベーション、付加価値創出

# 関西産業の成長に向けた “ 関西チャレンジ ”

## 関西チャレンジ②

- ◆ 世の中が急速に変化する中、少し先の世界を見据え、その変化にチャンスを見出し、関西の強みやポテンシャルを活かし、ビジネスによる持続可能性で社会に貢献
- ◆ 変化の中で多様化するニーズをとらえた戦略で、関西の強みやポテンシャルの社会へ浸透・展開

### A 関西の強みを活用・応用し、時代が求める新たな価値を創出

#### 【取組アイデア】

- 新たな社会課題の動向をつかみ、課題解決への貢献に向け、率先して多様なプレイヤーと交流・協業
- 強みの掛け合わせによる協業・共創を進め、リソースの域内最適化、有効活用により、時代の変化のスピードに対応した迅速なチャレンジ
- 環境や健康等の分野では、最新の研究や知見に基づくエビデンスの提供などによる価値の再提案（新提案）
- 伝統産業や地場産業など、地域独自の魅力を、生活スタイルの変化に合わせた組み合わせなどにより新たな価値を提案
- 地域を支える既存産業の持続的な成長、第二創業等によるチャレンジ
- 変革期にある産業など、個別での取組みをサポートしつつ、業界全体として新たなチャレンジ（プラスチック等）
- 2025年大阪・関西万博の機会を活用した、関西発の新たな価値提案・発信
- 地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す6次産業化の更なる推進
- デジタル化を前提としたビジネスモデルへの転換を通じ、新たな顧客体験等を提供

### B 関西が誇る技術、プロダクトを、より多く、より広く、より深く提供

#### 【取組アイデア】

- デジタル活用による生産性の向上等で、生産量を拡大し、安定的に提供できる取組みを展開
- 国内の既存マーケットが飽和、あるいは人口減少等により縮小が見込まれる分野（産業）については、新市場開拓（海外展開、海外進出）
- 認知向上によるマーケットの拡大が見込まれる分野（産業）のプロモーション強化
- ユーザー、購買層の拡大等による、既存市場でのシェア向上
- 我が国の少子高齢化、人口減少に伴う国内市場の縮小やニーズの多様化を捉え、非所有、カスタマイズ、希少性等の個別の嗜好を満たす



# 関西産業の成長に向けた “ 関西チャレンジ ”

## 関西チャレンジ③

- ◆ SDG s、脱炭素(GX)をはじめとしたビジネス・グローバルスタンダードに迅速・的確に対応し、強みやポテンシャルをいかんなく発揮
- ◆ 個性の集まりが力となり成長する関西産業、多様な人材から「選ばれる」関西産業への構造転換

### A 世界の時流をとらえ、変化に柔軟に対応できる産業OSのアップグレード

#### 【取組アイデア】

- 新型コロナウイルス感染症等への対応で加速するデジタル化を前提としたビジネススタイルへの転換
- これまでの実績に捕らわれ、時代の変化へのチャレンジ機会を逸することがないよう、世の中の動きに対する感度を高くする
- 市場や社会の動向を死角なく捉えるダイバーシティの確保
- 新たなチャレンジをしやすい環境の整備、仕組みの構築
- 失敗を次のチャレンジの糧とするマインドを醸成
- 企業価値の向上とステークホルダーとのエンゲージメントを高めることによるロイヤリティ向上

### B 産業を支えるチャレンジ人材を惹きつける、多様な価値観、生活スタイルに応じた柔軟な働き方の実現

#### 【取組アイデア】

- 大学が核となり、強みやネットワークを活用しながらチャレンジャーを育成、呼び込む、関西人材エコシステムの構築
- 国内外からチャレンジ人材を惹きつけ、挑戦意欲を掻き立てる万博の演出
- 場所や形態にとらわれない多様な働き方が存在し、自身のスタイルに合った働き方が自由に選択できる環境の提供

# 関西広域連合による取組み

関西広域連合は、固有の4つのバリュー(存在価値)を発揮し、関西産業の成長に資する取組みを実施する

## ● スケールメリット(規模の経済、域内最適化)

構成府県(市)が同じ目的をめざす取組みを、関西広域連合が集約し一元的に実施することで効率・効果を高める

×

## ● シナジー(協働、相乗、相互補完)

構成府県市のそれぞれの強み・得意分野などを、関西広域連合域内で掛け合わせることで、単独実施以上の効果を生み出す

×

## ● スピルオーバー(波及、浸透)

構成府県市の独自の取組みを、関西広域連合域内で共有し、共感をひろげ、取組みを水平展開することで広い効果をめざす

×

## ● ダイバーシティ(多様性、地域特性)

構成府県市の個性、特性を、関西広域連合として重ね合わせることで、その良さを際立たせ、また個性の集合体としての多彩な魅力を発信する

## 関西広域連合の役割

### ◎ 関西産業の成長を加速するための機運醸成

関西産業の将来を展望したビジョンを策定し、構成府県市やステークホルダーと共有することで、関西全体で取り組むメリットを認識しながら、同じ方向性で活動していく機運を醸成する

### ◎ 関西産業の成長、活性化に向けたコーディネート

連合が各府県市間やステークホルダーとの結節点となることで、関西産業全体の成長、活性化につながるうごめきを、より大きなうねりとする

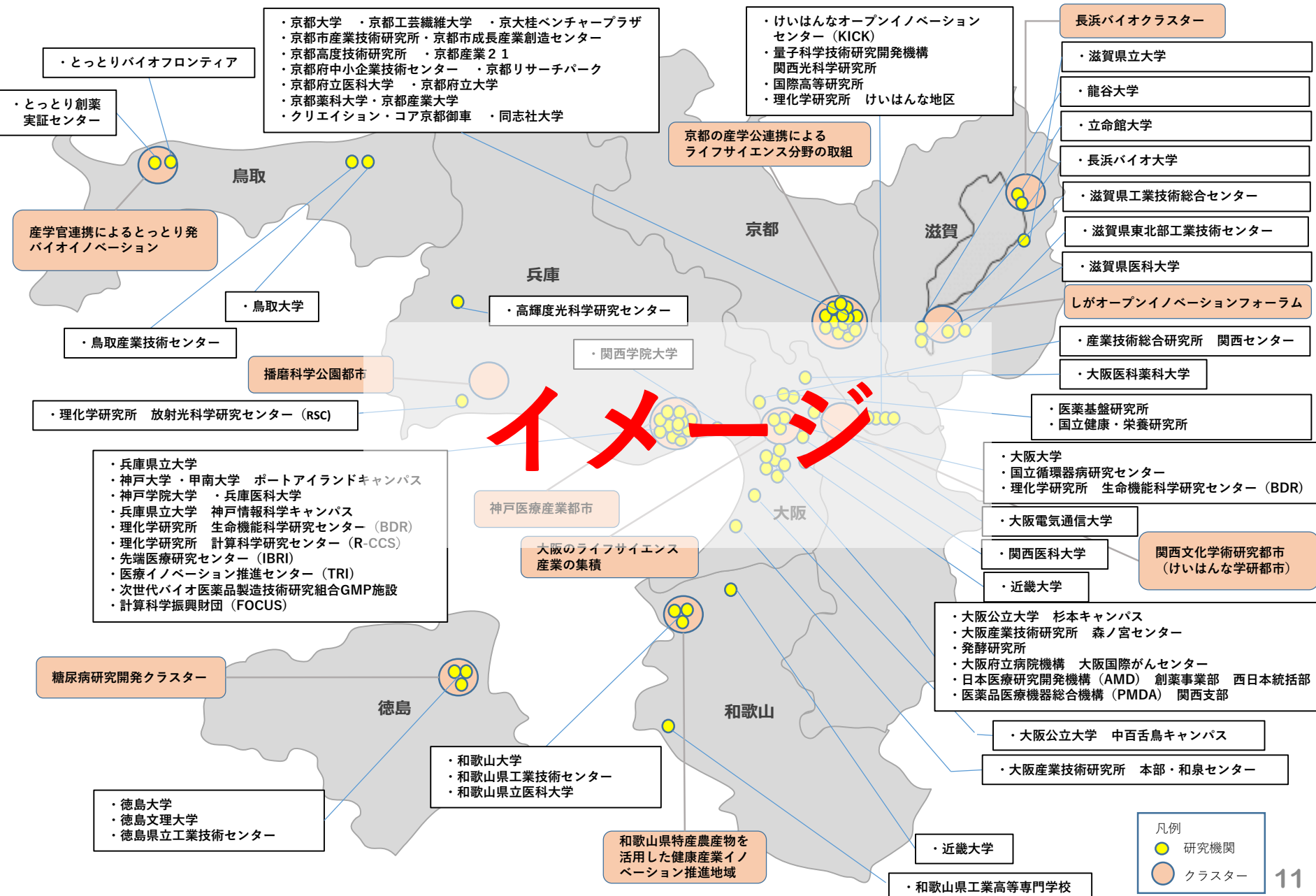
### ◎ 構成府県市の特色を活かした取組を、集め、広げる

個性豊かで多様な地域特性を活かした取組を、様々なプレイヤーが展開する中で、それらの情報を集約し、水平展開することで、新たな気付きや優良事例を関西全域に広げていく

検討中  
(企画段階)

# 関西ポテンシャルマップ<ライフサイエンス>

## イメージ



・とっとりバイオフロンティア

・とっとり創薬  
実証センター

・京都大学 ・京都工芸繊維大学 ・京大桂ベンチャープラザ  
・京都市産業技術研究所 ・京都市成長産業創造センター  
・京都高度技術研究所 ・京都産業21  
・京都府中小企業技術センター ・京都市リサーチパーク  
・京都府立医科大学 ・京都府立大学  
・京都薬科大学 ・京都産業大学  
・クリエイション ・コア京都御車 ・同志社大学

・けいはんなオープンイノベーション  
センター (KICK)  
・量子科学技術研究開発機構  
関西光科学研究所  
・国際高等研究所  
・理化学研究所 けいはんな地区

長浜バイオクラスター

・滋賀県立大学

・龍谷大学

・立命館大学

・長浜バイオ大学

・滋賀県工業技術総合センター

・滋賀県東北部工業技術センター

・滋賀県医科大学

しがオープンイノベーションフォーラム

・産業技術総合研究所 関西センター

・大阪医科薬科大学

京都の産学公連携による  
ライフサイエンス分野の取組

産学官連携によるとっとり発  
バイオイノベーション

・鳥取大学

・鳥取産業技術センター

播磨科学公園都市

・理化学研究所 放射光科学研究センター (RSC)

・高輝度光科学研究センター

・関西学院大学

・兵庫県立大学  
・神戸大学 ・甲南大学 ポートアイランドキャンパス  
・神戸学院大学 ・兵庫医科大学  
・兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス  
・理化学研究所 生命機能科学研究センター (BDR)  
・理化学研究所 計算科学研究センター (R-CCS)  
・先端医療研究センター (IBRI)  
・医療イノベーション推進センター (TRI)  
・次世代バイオ医薬品製造技術研究組合GMP施設  
・計算科学振興財団 (FOCUS)

神戸医療産業都市

大阪のライフサイエンス  
産業の集積

・医薬基盤研究所  
・国立健康・栄養研究所

・大阪大学  
・国立循環器病研究センター  
・理化学研究所 生命機能科学研究センター (BDR)

・大阪電気通信大学

・関西医科大学

関西文化学術研究都市  
(けいはんな学研都市)

・近畿大学

・大阪公立大学 杉本キャンパス  
・大阪産業技術研究所 森ノ宮センター  
・発酵研究所  
・大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター  
・日本医療研究開発機構 (AMD) 創薬事業部 西日本統括部  
・医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 関西支部

糖尿病研究開発クラスター

徳島

和歌山

・大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス

・大阪産業技術研究所 本部・泉センター

・徳島大学  
・徳島文理大学  
・徳島県立工業技術センター

・和歌山大学  
・和歌山県工業技術センター  
・和歌山県立医科大学

和歌山県特産農産物を  
活用した健康産業イノ  
ベーション推進地域

・近畿大学

・和歌山県工業高等専門学校

凡例  
● 研究機関  
● クラスター